

再生砕石の 施設認証取得

大成ロテック城南島
リサイクルセンター

大成ロテックは、東京都

大田区にある城南島リサイクルセンターが、東京都環境局らの推進する再生砕石利用拡大支援制度に基づき「東京ブランド粋なえこ石」の施設認証を取得したと発表した。えこ石は東京建設業協会、東京建物解体協会、東京都産業廃棄物協会の3団体が設けた品質基準を満たした砕石に与えられる名称。認証取得により、同センターで製造した再生砕石の利用拡大に期待がかかる。

同社によると、都内で発生するコンクリートがれき類は年間700万〜800万トとされる。リサイクル材再利用の受け皿は主に道路業界が担ってきたという。同社は東京青海合材工場（東京都江東区）や城南島リサイクルセンターで、年間約50万トのがれき類をリサイクル。多くの路盤材や再生合材などのリサイクル材を都内に供給してきた。

都内では老朽化した多くのコンクリート構造物の更新が見込まれている。構造物の解体と新設のスムーズなサイクルを実現するには、再生砕石の利用環境の整備は不可欠となる。同社は認証取得に向け、城南島リサイクルセンターの設備を増強。東京都環境局らが

推進する認定品の路盤材などを製造できるようにした。

認定証授与に当たり城南島リサイクルセンターの永盛達也工場長は「安心・安全な再生砕石を生産できる体制を、東京五輪前に整えることができた。世界から注目されるイベントに、業界ナンバーワンを誇る当社のエコ意識をPRしていきたい」とコメントした。

都内にある工場を統括する宮本栄二南関東支社製品事業部長兼城南島リサイクルセンター統括工場長は「えこ石を安定供給できる体制を整え、より良い環境づくりを推進する」と話している。